

## 柏崎市第2期総合戦略 KPIの見直し

主要施策	現 行			KPI 変更 有無	改 訂 案			KPI見直しの理由	目標数値設定理由等
	KPI	現状 (H30)	目標 (R6)		KPI	現状 (H30)	目標 (R7)		
重点プロジェクト									
プロジェクト1 転入増加・転出抑制プロジェクト									
	転出と転入の差 (転出数－転入数)	345人	245人	なし	転出と転入の差 (転出数－転入数)	345人	225人		20人/年減を見込む。 総合戦略の将来の人口展望において、直近10年の20歳～34歳の転出超過(200人前後)を10年間で0にしているため。
プロジェクト2 子育て支援プロジェクト									
	合計特殊出生率	1.54	1.63	なし	合計特殊出生率	1.54 (H29年度)	1.51以上 (R6年度)		【五次総】【目標値低下の理由】 少子化が進む中で、R1の数値以上を目指すこととする。 (R1:1.51)
				追加	出生数	522人	430人	合計特殊出生率だけでは、人口の自然減が見えないため追加する。	R7人口推計から合計特殊出生率が1.51となる出生数を算出。
プロジェクト3 産業活性化プロジェクト									
	一人当たりの市民所得	2,818千円 (H28年度)	3,000千円 (R4年度)	なし	一人当たりの市民所得	2,818千円 (H28年度)	3,000千円 (R5年度)		【目標値に変更がない理由】 過去3年間は平均14,500円程度しか増加がみられないことから、目標値を上げることはしない。 (H28:2,818千円 H29:2,835千円 H30:2,847千円)
	製造品出荷額における付加価値額	705億円	750億円	なし	製造品出荷額における付加価値額	666億円 (H28年度)	750億円 (R5年度)		【目標値に変更がない理由】 景況に左右される指標であり、事業の積み上げにより数値が伸びるものではないことから、近年の最高実績であるH25の750億円を目標とし、変更しない。
	観光入込客数	360万人	400万人	あり	(第1節へ)			※五次総に合わせKPI変更	

主要施策	現 行			KPI 変更 有無	改 訂 案			KPI見直しの理由	目標数値設定理由等
	KPI	現状 (H30)	目標 (R6)		KPI	現状 (H30)	目標 (R7)		
第1節 地域産業の振興を図り雇用の場をつくる									
I-1 地域産業を活性化する									
	特許保有件数	153件	200件	あり	製造品出荷額等 【推進委員会】	1,933億円 (H28年度)	2,200億円 (R5年度)	特許保有件数では、ものづくり産業の状況がわかりづらいとの指摘から指標を変更する。生産性の向上等による製造品出荷額の増加は産業の活性化を表す指標となり得るため。	H28からH30は100億円/年増となっているが、コロナウイルス感染症の影響が考えられることから、R5時点でH30の水準以上を目標とする。 (H28:1,933 H29:2,031 H30:2,151)
				追加	情報関連産業における雇用者数(累計) 【五次総】	206人	265人	産業の活性化に関して、情報産業に係る指標を追加する。	【五次総】 R2までの雇用者数の伸び率をもとに成長産業であることを考慮し、R2から15%増として算出。 (R2:231⇒R7:265)
				追加	(重点プロジェクト:観光入込客から)延べ宿泊者数 【五次総】	256,304人	257,000人	観光産業の活性化には、日帰りの観光客の増加より、長期滞在者による様々な場所での観光消費の促進が重要であるため。	【五次総】 コロナウイルス感染拡大前(H30)の水準に回復させる。 (H30:256,304)
	米山プリンセスの認定数量	2.2トン (R1年度)	10トン	あり	園芸作物の作付け面積 【推進委員会】	27.9ha	66.4ha	産業の活性化に関して、第1次産業に係る指標を追加した。	地域園芸振興プランにより、R6の目標を66.4haと設定している。直近3年間の推移から、目標達成の可能性を考慮し、R7目標値も66.4haとする。 (H30:27.9 R1:28.2 R2:32.1)
	地域エネルギー会社の設立	-	設立 (R4年度)	なし	地域エネルギー会社の設立	-	設立 (R4年度)		柏崎市地域エネルギービジョンに掲げる次世代研究プロジェクトの実現に向け、実行可能性調査及び事業化検討を実施し、R4の会社設立を目指す。
I-2 雇用対策を強化する									
	女性の生産年齢人口における就業率	66.7% (H27国調)	73.0% (R7国調)	なし	女性の生産年齢人口における就業率	66.7% (H27国調)	73.0% (R7国調)	(国勢調査の指標は進行管理ができないため変更を検討したが、その他指標となり得る数値が算出できないことから、変更しないこととした。)	
	柏崎市創業支援事業計画に基づく創業者数(累計)	66人	156人	なし	柏崎市創業支援事業計画に基づく創業者数(累計)	66人	171人		15人/年増を見込む (H30:66⇒R7:171)

主要施策	現 行			KPI 変更 有無	改 訂 案			KPI見直しの理由	目標数値設定理由等
	KPI	現状 (H30)	目標 (R6)		KPI	現状 (H30)	目標 (R7)		
第2節 子どもを産み育てやすいまちをつくる									
II-1 地域全体で子育てを支援する									
	地域における子育て支援拠点施設の利用者数	10,800組	10,800組 (現状維持)	なし	地域における子育て支援拠点施設の利用者数	10,800組	10,800組 (現状維持)		子どもの数(施設利用の対象者)が減る中で、施設の認知度向上などにより、利用者数はH30実績を維持する。 (H30:10,800)
	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	92.3%	95.0%	なし	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	92.3%	95.3%		【五次総】 この地域で子育てをしたいと思う親の割合が減少してきている。直近(R1)の新潟県平均(95.3)の数値を目指す。
	公立保育園における年度途中入園希望児童に対する実入園児童数の割合	56.1%	100.0%	あり	年度途中の入園希望に対する実入園の割合(公立保育園)  【推進委員会】	56.1%	100.0%	タイトルを変更(内容は変更なし) 目標値に変更はないが、数値の取り方を工夫し、実態により近い形で算出する。	実途中入園数/①入所保留通知書の発行数+②途中入園数+③広域受託数  ①入所保留通知書の発行数には、育休の延長のために発行している件数も含まれるため、分母が大きくなっている。 R4からは、発行手続きの待ち時間にアンケートを依頼するなどにより、育休延長を目的に発行した数を差し引いて算出する。
II-2 若者のくらしを支援する									
	仕事と家庭の両立支援奨励金の交付件数(累計)	-	50件	なし	仕事と家庭の両立支援奨励金の交付件数(累計)	- (R2年度 事業開始)	60件		10件/年増の交付を見込む。 (R2:11)
	ハッピー・パートナー企業の登録件数	44社	70社	なし	ハッピー・パートナー企業の登録件数	44社	80社		【五次総】 4.4社以上/年増を見込む 過去5年間は平均4.4社。 (H28:34 H29:37 H30:44 R1:50 R2:52)
	公民館講座エイジレスコース参加者のうち10~40代の割合	40.0%	43.0%	削除				公民館講座は交流を目的とした事業ではないため削除する。	

主要施策	現 行			KPI 変更 有無	改 訂 案			KPI見直しの理由	目標数値設定理由等
	KPI	現状 (H30)	目標 (R6)		KPI	現状 (H30)	目標 (R7)		
第3節 定住を促す魅力あるまちをつくる									
Ⅲ-1 若者の定住を促進する									
	新規学校卒業者の市内就職率 市内高等学校 市内大学	49.0% 16.4%	65.0% 20.0%	なし	新規学校卒業者の市内就職率 市内高等学校 市内大学	49.0% 16.4%	58.0% 17.0%		【五次総】【目標値低下の理由】 現状から市内就職率の向上は難しいため、現状維持以上とする。 【高校】過去3年間の平均54%から1%/年増を目指す。 (H30:49.0 R1:56.6 R2:56.7) 【大学】過去3年間の平均13%から1%/年増を目指す。 (H30:16.4 R1:11.7 R2:10.8)
	移住セミナー、相談会の相談件数(年度延べ件数)	32件	80件	あり	移住セミナー、相談会の相談実人数	24人	55人	相談件数では、同じ人が複数回相談した場合も数に含まれるため、実人数に変更する。	【五次総】 5人/年増を見込む。 (R2:30⇒R7:55)
Ⅲ-2 柏崎らしさを創出する									
	柏崎ファンクラブの会員数(累計)	7,695人	12,000人	削除				会員数を増やすことが事業の目的ではないため削除する。	
	柏崎ふるさと応援基金への寄附件数	8,504件	20,000件	なし	柏崎ふるさと応援基金への寄附件数	8,504件	20,000件		【五次総】【目標値に変更がない理由】 定期配送等のメニューにより、寄附単価は上がるが、寄附件数は伸びにくい現状を踏まえて財政計画を立てたため。 財政計画(R7) 寄附額500,000千円 25,000円/件×20,000件
	ブルボンウォーターポロクラブ柏崎サポーター及び協賛店の数	241人 54店	600人 100店	削除				一企業のクラブにおけるサポーター数や協賛店数は「柏崎らしさ」のKPIではないことから削除する。	

主要施策	現 行			KPI 変更 有無	改 訂 案			KPI見直しの理由	目標数値設定理由等
	KPI	現状 (H30)	目標 (R6)		KPI	現状 (H30)	目標 (R7)		
第4節 地域の活力を担う人材つくる									
IV-1 愛着や誇りを育む人材をつくる									
	柏崎の自然や伝統文化に関するアンケートにおいて、体験したことがあると回答した児童・生徒の割合	67.0% (R1年度)	75.0%	なし	柏崎の自然や伝統文化に関するアンケートにおいて、体験したことがあると回答した児童・生徒の割合	67.0% (R1年度)	75.0%		【目標値に変更がない理由】 コロナ禍における活動の形態を工夫する必要があるため、目標を上げることはしない。
	ライクワークスクールを受講し活動を開始した人数(累計)	6人	31人	なし	ライクワークスクールを受講し活動を開始した人数(累計)	6人	36人		5人/年増を見込む。 H30の受講者数が12人、活動を開始した人数が6人(50%)。 R1の受講者数は9人、その50%は4.5人であることから、毎年5人増を目指す。
				追加	子ども向けWEBミュージアムアクセス件数(年間)	46,647件	80,000件	子どもたちの地域の愛着へつながる指標であることから追加する。	【五次総】 GIGAスクールと関連してタブレットでのアクセス件数を2倍にすることを目標とする。 R2:65,390件のうち、タブレット12,604件 その他52,786件 目標:52,786+12,604×2=77,994≒80,000件
IV-2 地域産業を担う人材をつくる									
	ものづくりマイスターカレッジ受講者の技能検定合格者数(累計)	131人	200人	なし	ものづくりマイスターカレッジ受講者の技能検定合格者数(累計)	131人	200人		【五次総】【目標値に変更がない理由】 10人以上/年増を見込む。 (R2:146⇒R7:200以上) コロナ禍による検定試験の中止を受け、目標を上げることはしない。
	市内二大学の入学者数	318人	340人	あり	市内二大学の入学者数 ※通信課程を除く	318人	340人	通信課程を除いた入学者であることを明記	【目標値に変更がない理由】 各大学の定員数を目標値としているため。